

Windows 製品のパターンファイルリセットを行うには？

パターンファイルリセット fsaua-reset は、F-Secure 自動更新エージェント (FSAUA: Automatic Update Agent) をリセットするツールです。コンピュータ上の旧パターンファイルを一旦削除し、新たにパターンファイルをダウンロード/適用することでウイルス定義ファイルを最新状態に更新します。この手法はパターンファイルの適用により何らかの障害が出た際にも実施いただけます。

対象製品バージョン

エフセキュア ポリシーマネージャーサーバ Ver 12.xx

エフセキュア クライアントセキュリティ Ver 12.xx, 13.xx 14.xx 15.xx

エフセキュア サーバセキュリティ Ver 12.xx 14.xx 15.xx

エフセキュア プロテクションサービスビジネス (PSB) コンピュータ プロテクション

エフセキュア プロテクションサービスビジネス (PSB) サーバプロテクション

対象 OS

当該製品がサポートするすべてのオペレーティングシステム

以下の手順で実行してください。

1. 下記 URL から【FSAUA-reset ツール】 fsaua-reset.exe をダウンロードします。

https://www.f-secure.com/ja_JP/web/business_jp/support/support-tools

2. ダウンロードした fsaua-reset.exe を管理者として実行します。

3. コマンドプロンプト画面が起動し、リセットの実行を YES/NO で確認してくるので、Y を入力します。

※しばらく経つと、自動的にコマンドプロンプト画面は閉じます。

ポリシーマネージャサーバ 13.x 以降(13/14/15)

ポリシーマネージャサーバ 13.x 以降は、自動更新エージェント(aua)が廃止され、新しい配信プロトコル GUTS2 エージェントを採用しております。パターンファイルリセットは以下手順となります。

- 1.C:\Program Files (x86)\F-Secure\Management Server 5\data\guts2 フォルダを削除します。
- 2.ポリシーマネージャサーバのサービスを再起動します。

上記の手順を実行した後に、パターンファイルがリセットされ、自動更新作業が行われます。ポリシーマネージャは管理クライアント分の製品別のパターンファイルをすべて保持します。その為更新には時間がかかる事がございますのでご了承ください。Windows 製品の場合、1 製品で 100MB から 200Mb 程度です。